

岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

平成27年 3月 24日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ミナミナ
団体名 南方地区まちづくり委員会
所在地
連絡先

フリガナ
代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 ☒ イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	南方地区の課題掘り起し事業
事業実施区域(小学校区)	旧南方小学校区
事業実施回数	☒ 新規 ・ 継続 回目 (年度から)
事業の目的	南方地区に住んでいる人たちがこの地域そのものについて、町内会やコミュニティ活動、防災、その他の問題について、どう感じ考えているのか。南方地区がどんな問題に直面し、何に困っているのか。これらのことを調査し、問題を解決して行くために何が必要かを考えていく。そのことを通して南方地区をより魅力的なまちにしていくことを目的とする。
事業の必要性	現在南方地区では、町内会役員やコミュニティ各種団体構成員の高齢化が進んでおり、担い手も減少している。子育て世代や現役世代との繋がりが少なくなり、町内会活動やコミュニティの足腰は全体として弱ってきている。 南方地区のまちづくりとコミュニティ組織の活性化を考えていくためには、いまだのような問題に直面しているのか、何故現在に至る状況が生まれてしまったのか等々について、明らかにしていくことが欠かせない。 まずその最初の取り組みとして、アンケート調査等の方法により、広く地域住民の声を聞いていくことは有効であると考え。そしてアンケート調査の集計分析を踏まえ客観的なデータから南方地区の諸課題を見出していきたい。 こうした作業は、地域の課題を全体で共有していくうえで大きな力となる。認識の共有があって初めて、その解決に向けた取り組みも可能となる。 さらに南方地区には、これまでコミュニティ活動に関わっていない団体や個人、法人があり、これらの潜在する可能性と力を発見していくことは大きな課題であり、そこへアプローチも欠かせない大きな課題であると考え。

事業の内容	① アンケート調査を受けての集計作業 ② 分析と課題の抽出 ③ 講師を招いての学習、勉強会 ④ 報告書にまとめ、結果を広く公表する。
期待される成果	① アンケート調査の集計を通して、地域住民の町内会活動やコミュニティ活動に対する意見、交通問題や子どもたちの安全安心、地域の防災問題などについての意見を知ることができる。 ② 集計作業や課題の抽出作業をとおして、南方地区の問題点を一定程度客観的なデータとして明確にすることができる。 ③ 報告書としてまとめることで、地域住民の声を知り、何が問題となっているのかについての認識を共有化していくことができる。
企画などの工夫	① アンケートの集計や分析作業に関しては、経費を節減していくためにもできるだけ委員会のメンバーで行う。ただし、専門的な作業的に困難な点に関しては、検討を要する。 ② 地域づくりに先進的に取り組む地域の方と交流を持ち、勉強会を開催することで、視野や問題意識を広げる。 ③ できるだけ見やすく、わかりやすい報告書にする。
事業の情報公開	① 地域各諸団体へ呼びかけての勉強会の開催 ② 報告書として結果を広く公開する。 ③ インターネット等で、活動や結果の公開を行う。
次年度以降の予定	① アンケートの分析と課題抽出の作業を踏まえ、どうすればよいのか、課題解決の方途を探る。 ② また他の諸課題の把握と調査について考える。 ③ 公開ワークショップの開催 ④ 定例会や勉強会の開催
その他PRしたい点	私たち南方地区まちづくり委員会は、南方地区の町内会や各種コミュニティの団体に所属する者で構成されており、旭公民館とタイアップしながら事業をすすめることとしている。

[illegible]